

令和 8 年 3 月 2 日

職員による差別発言事象について（概要）

1 概要

令和 8 年 2 月 3 日（火）午前 11 時頃、移動中の公用車内で、職員 A との会話の中で、職員 B が「(地名) は、被差別部落や。高校の時に (地名) を通るのが嫌やった。」と発言したもの

公用車への同乗者は計 3 名 職員 A、職員 B、職員 C

2 主な対応経過

2 月 3 日（火）

午前 11 時頃 公用車内で職員 B が発言

2 月 6 日（金）

午後 1 時頃 職員 A から管理監督者に本件事象を報告

午後 4 時 管理監督者が当該公用車のドラレコから SD カードを回収

午後 4 時 ～ 職員 B へヒアリング

本件発言を認めたうえで、冗談とはいえ今から思えば軽率な発言をしてしまったと思う、と反省している様子であった。

職員 C へヒアリング

車内での会話内容はあまり覚えておらず、本件発言は記憶にないとのことであった。

2 月 9 日（月） 建設局（総務課）から市民局（人権啓発・相談センター）へ事案報告

3 当該車両搭載のドライブレコーダーの情報について

(1) SD カードに記録されていたデータの内容（2 月 6 日 17 時 30 分）

事象発生日である令和 8 年 2 月 3 日のデータ（画像・音声）は確認できなかった。

確認できたのは令和 7 年 3 月 6 日、14 日、10 月 4 日、11 月 12 日～14 日、25 日のデータであるが、管理監督者がそれらのデータを確認したところ、問題となる発言は見当たらなかった。

(2) 当該公用車の再確認（2 月 9 日 18 時）

機器本体から配線コネクタが抜けている状態であることを確認したため、奥まで差し込んで正常な状態に戻した。

- (3) 当該車両の動作確認履歴（10 月 4 日 12 時）
令和 7 年 10 月 4 日 動作確認を実施しており、その際、機器本体から配線コネクタ
ーが抜けている状態であったため、奥まで差し込んで正常な状態に戻したことがある。
- (4) 他の車両の確認（2 月 10 日 18 時）
当該担当部署において、確認可能な保有車両について、機器本体と配線コネクタの
接続及び正常作動が確認された（車検中車両除く）

4 今後の対応

- (1) 保全したドライブレコーダーの記録確認
- ・当該事業所保有車両のデータ → 2 月 12 日保全済
 - 車検中であった車両のデータ → 2 月 24 日保全済
 - ・残る建設局全車両のデータ → 2 月 26 日保全済
 - 保全済のデータ内容を確認（約 3,000 時間と推計）
- (2) 関係当事者への追加ヒアリング
- 実効的な再発防止のため発言に至る背景などについてヒアリングを実施中
- 以上の対応結果及び再発防止策を定め公表予定